**事情書(1)　収支用**

　　　　　年　　　月　　　日

（提出期日 1月25日【厳守】） 　 　　氏　名

所　属

回　生

①奨学生番号（第一種）

②奨学生番号（第二種）

来年度の継続申請願を提出したところですが、適格認定を受けるに当たり、経済状況の要件において、「収支差が大きい点」について特別な事情がありますので、申し立てます。

　《参考》収支差の指導基準額：学部生３６万円（新入生２４万円）以上，大学院生４５万円（新入生３０万円）以上。

◆【収支状況】(**記載必須**)…今年度入学者は４月～１１月の８カ月分を記載

 収入計〔　　　　〕万円　－　支出計〔　　　　〕万円＝収支差〔　　　〕万円

◆【申立ての内容 (下記のいずれかの該当番号を○で囲んで、申し立て内容を記載。複数回答可) 】

１．入学時特別増額奨学金貸与による今年度だけの一過性のもの

 　《参考》入学時増額奨学金〔　　　〕万円を除いた場合の収支状況

入学時増額を除く収入計〔　　　　〕万円　－　支出計〔　　　　〕万円＝収支差〔　　　〕万円

２．来年度は支出増を見込むため、奨学金月額減額は出来ない。

〔収入増理由(該当に○)〕　就活、留学、その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３．来年度から収入減を見込むため、奨学金月額減額はできない。

〔収入減理由(該当に○)〕　学業・研究専念、実験・実習増、就活、仕送り減、その他（　　　　　　　　　）

４．特別な支出に備える貯蓄のため、奨学金月額減額はできない。

〔特別な支出理由(該当に○)〕　留学、授業料納付、就職、進学、その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

５．　　　　年　　月から　　　　　　円に減額を行う予定

６．その他（下欄に詳細を記載）

|  |
| --- |
|  |

(記載スペースが不足する場合は、裏面に記載のこと。)